

## 「健やか親子いきいきプランみえ(2次)」の進捗状況一覧(全指標)

## 重点課題(1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策

(めざす姿)

&lt;10年後&gt;

市町や医療機関等との連携や支援制度の整備を通じて、妊娠・出産・育児に至るまでの間、切れ目なく必要な母子保健サービスが提供され、妊産婦やその家族が安心して子どもを産み育てることができると。

	目標項目	計画策定時 (H26)	H27 進捗状況	中間評価(5 年後) 目標	最終評価(10 年後) 目標	調査方法	担当部署
成果 指標	乳児死亡率(出生千対)	3.0 (H25)	<b>2.0 (H26)</b>	減少	減少	人口動態調査	健康福祉総務課 企画調整班
	幼児(1歳から4歳)死亡率 (人口10万対)	19.2 (H25)		減少	減少	人口動態調査	健康福祉総務課 企画調整班
	むし歯のない3歳児の割合	81.0%	<b>81.5% (H26年度)</b>	86%	90%	毎年調査	健康づくり課 がん・健康対策班
取組 指標	【新】妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談窓口が整備されている市町数	22市町 (H26年度)		増加	増加	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	【新】乳幼児健診の受診率	97.1% (4か月児) 91.2% (10か月児) 97.8% (1歳6か月児) 95.8% (3歳児) (H25年度)		増加	増加	母子保健報告	子育て支援課 母子保健班
	乳幼児健診の未受診者のフォロー率	95.4% (4か月児) 89.9% (10か月児) 95.3% (1歳6か月児) 91.2% (3歳児) (H25年度)		100%	100%	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	【新】訪問・通所・宿泊等による産後ケアを実施できる体制がある市町数	2市町	<b>7市町 (27年度)</b>	13市町	24市町	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	【新】妊娠届出時等に医療機関と情報提供等の連携をした市町数	22市町		29市町	29市町	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	【新】フッ化物歯面塗布を実施している市町数	22市町	<b>22市町 (H26年度)</b>	29市町	29市町	毎年調査	健康づくり課 がん・健康対策班
	【新】男性不妊治療等、県独自の助成事業を利用する市町数	19市町	<b>29市町</b>	29市町	29市町	毎年調査	子育て支援課 母子保健班

参考 指標	周産期死亡率（出産千対） 及び妊産婦死亡率（出産10万対）	4.1 (H25 周産期) 0.0 (H25妊産婦)	4.4 (H26 周産期) 0.0 (H26妊産婦)	/	/	人口動態調査	健康福祉総務課 企画調整班
	妊娠11週以下での妊娠の届出率	93.4% (H25年度)				母子保健報告	子育て支援課 母子保健班
	1歳6か月児健診時までに麻疹（MR）の予防接種 を終了している人の割合	93.5% (H25年度)				母子保健報告	子育て支援課 母子保健班
	【新】仕上げ磨きをする親の割合	68.1% (1歳6か月児) (H26年度) ※1				毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	【新】「不妊相談センター」への相談件数及び特定 不妊治療費助成件数	285件 (相談件数) 2,453件 (助成件数) (H25年度)				毎年調査	子育て支援課 母子保健班

※1 平成26年度の数値は、平成26年度厚生労働科学研究（山縣班）親と子の健康度調査（追加調査）によります。（県内10市町における抽出調査）

## 「健やか親子いきいきプランみえ（2次）」の進捗状況一覧（全指標）

### 重点課題（2）学童期・思春期から成人期に向けた保健対策

（めざす姿）  
＜10年後＞

子どもたちが学童期・思春期における心身の健康の大切さを理解し、主体的に健康管理を行うとともに、妊娠・出産や性に関する医学的知識を持ち、自らの人生や家族の大切さについて考え、行動することができます。

	目 標 項 目	計画策定時 (H26)	H27 進捗状況	中間評 価(5 年後) 目標	取終評 価(10 年後) 目標	調査方法	担当部署
成果 指標	十代の人工妊娠中絶率	5.9 (H25)		減少	減少	衛生行政報告 例	健康福祉総務 課 企画調整班
	中学3年生（14歳）の女生徒で体重が 標準の-20%以下の割合	3.17% (H25年度)	<b>3.12%</b> (H26年度)	減少	減少	教育委員 会 (健康状況 調査)	保健体育課 健康教育班
	十代の性感染症報告数（1定点あたり）	1.24 (性器クラミジア) 0.06 (淋菌感染症) 0.24 (尖圭コンジローマ) 0.06 (性器ヘルペス) (H25)		減少	減少	感染症発 生動向調 査定点医 療機関報 告	保健環境研究 所 疫学研究課
取組 指標	【新】妊娠・出産や性に関する医学的知識を持ち、 自らの人生について考えることができる人を育てる ためのライフプラン教育を実施している市町数	10市町 (H26年度)		29市町	29市町	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	朝食を毎日食べる小学生（6年生）の割合	87.6% (H26年度)		100%	100%	教育委員 会	保健体育課 健康教育班
	思春期教室・相談事業を実施している市町数	20市町 (H26年度)		25市町	29市町	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
参考 指標	学校保健委員会を開催している公立の小中学校及び 高校の割合	86.9% (H25年度)	<b>93.3%</b> (H26年度)	/	/	教育委員 会	保健体育課 健康教育班
	十代の自殺率（人口10万対）	1.1 (H25 10～14歳) 7.7 (H25 15～19歳)		/	/	人口動態調 査(人口10万 対)	健康福祉総務 課 企画調整班
	ひきこもり・思春期問題をかかえる家族グループ (教室・集い)への参加者数	432人 (H25年度累計)		/	/	こころの健 康センター	こころの健康セン ター 技術支援課
	【新】妊娠レスキューダイヤルにおける相談件数	50件 (H25年度)	<b>72件</b> (H26年度)	/	/	毎年調査	子育て支援課 母子保健班

「健やか親子いきいきプランみえ(2次)」の進捗状況一覧(全指標)

重点課題(3) 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

(めざす姿)  
<10年後>

育児中の家庭が孤立することなく、地域社会の見守りの中で、心身ともに過度の負担や不安を感じることなく育児ができ、子どもが健やかに成長しています。

	目 標 項 目	計画策定時 (H26)	H27 進捗状況	中間評 価(5 年後) 目標	取組評 価(10 年後) 目標	調査方法	担当部署
成果 指標	【新】住んでいる地域で子育てをしたいと思う親の割合	94.9% (H26年度)		増加	増加	毎年調査 (1歳6か月児)	子育て支援課 母子保健班
	乳幼児の不慮の事故死亡率 (人口10万対)	41.2 (H25 0歳) 3.2 (H25 1~4歳)	0.0 (H26 0歳)	減少	減少	人口動態調査(人口10万対)	健康福祉総務課 企画調整班
取組 指標	乳幼児健診の未受診者のフォローを実施している市町数	26市町 (4か月児) 26市町 (10か月児) 29市町 (1歳6か月児) 29市町 (3歳児) (H25年度)		29市町	29市町	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	【新】地域の住民組織、NPO法人、ボランティア等と連携して実施している母子保健の取組がある市町数	23市町 (H26年度)		26市町	29市町	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
参考 指標	プレネイタル・ビジット(出産前小児保健指導)またはペリネイタル・ビジット(出産前後保健指導)を受けた人の数	51件 (H25年度)		/	/	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	育児休業制度を利用した従業員の割合	男4.2% (H25年度) 女90.4% (H25年度)				三重県内事業所労働条件等実施調査	雇用対策課 勤労福祉班

「健やか親子いきいきプランみえ(2次)」の進捗状況一覧(全指標)

重点課題(4) 育てにくさを感じる親に寄り添う支援

(めざす姿)

<10年後>

育児中の家族が、育児に対して行き詰まりや不安を感じた時に、気軽に相談することができる場があり、心身ともにゆとりを持って育児ができます。

	目標項目	計画策定時 (H26)	H27 進捗状況	中間評価(5 年後) 目標	最終評価(10 年後) 目標	調査方法	担当部署
成果 指標	日常の育児について相談相手のいる親の割合	99.4% (H26年度)		100%	100%	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
取組 指標	育児支援を目的として健診スタッフに心理相談員または保育士等が配置されている市町数	27市町 (H26年度)		29市町	29市町	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	周産期医療施設から退院したハイリスク児への市町における訪問等の実施率	97.4% (H26年度)		100%	100%	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	【新】「CLMと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合	20.5% (H25年度)		65.0%	90.0%	毎年調査	発達支援PT
参考 指標	重症心身障がい児(者)相談支援事業登録者数	356人 (H26.3)		/	/	障がい福祉課	障がい福祉課 生活支援班
	親子の心の問題に対応できる技術をもった小児科医の人数(子どもの心相談医登録者数)	25人 (H25.10.1)		/	/	小児科医会	小児科医会
	【新】5歳児健診を実施する市町数	5市町				毎年調査	子育て支援課 母子保健班

「健やか親子いきいきプランみえ(2次)」の進捗状況一覧(全指標)

重点課題(5) 妊娠期からの児童虐待防止対策

(めざす姿)

<10年後>

児童虐待の未然防止や早期発見を可能とするため、行政や医療機関などの関係機関だけでなく、地域の住民なども含めた地域社会全体で児童虐待を防止するための取組が行われています。

	目標項目	計画策定時 (H26)	H27 進捗状況	中間評 価(5 年後) 目標	取組評 価(10 年後) 目標	調査方法	担当部署
成果 指標	虐待による死亡件数(児童相談所関与)	0件 (H25年度)		0件	0件	毎年調査	子育て支援課 要保護児童支援 班
取組 指標	【新】母子健康手帳交付時に保健指導やアンケート等により状況把握を行った妊産婦の割合	57.5% (H25年度) ※1		100%	100%	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
	乳児家庭全戸訪問事業と養育支援訪問事業をともに実施する市町数	23市町 (H25年度)	<b>24市町 (H26年度)</b>	29市町	29市町	毎年調査	子育て支援課 母子保健班
参考 指標	児童相談所における児童虐待相談対応件数	1,117件 (H25年度)	1,112件 (H26年度)	/	/	毎年調査	子育て支援課 要保護児童支援 班
	【新】十代の母による出生数	1人 (15歳未満) 49人 (15~17歳) 187人 (18~19歳) (H25)				人口動態調査	健康福祉総務 課 企画調整班

※1 平成25年度の数値は、母子健康手帳交付時の保健指導(アンケート等を除く)の実施率。